

2025年度町田市教育委員会

第4回定例会会議録

1、開催日 2025年7月4日

2、開催場所 第二、三、四、五会議室

3、出席者 教 育 長 小 池 慎一郎
委 員 後 藤 良 秀
委 員 森 山 賢 一
委 員 井 上 由 奈
委 員 関 根 美 咲

4、署名者 教育長
委 員

5、出席事務局職員	学校教育部長	石 坂 泰 弘
	生涯学習部長	中 村 考 志
	教育総務課長	伊 藤 豪 章
	学務課長	池 澤 竜 臣
	保健給食課長	林 啓
	保健給食課担当課長	三 宅 紳 平
	指導室長（兼）指導課長	大 山 聡
	指導課担当課長（統括指導主事）	新 井 拓
	指導課担当課長	水 谷 成 臣
	生涯学習総務課長	西久保 陽 子
	生涯学習センター長	川 瀬 康 二
	市民文学館担当課長	羽 生 謙 五
	（町田市民文学館長）	
	書 記	中 里 典 子
	書 記	板 垣 有美子
	書 記	田 中 優 太
	書 記	天 野 昂

速 記 士

帯 刀 道 代

(株式会社ゲンブリッジオフィス)

6、提出議案及び結果

7、傍聴者数 1 名

8、議事の概要

午前10時00分開会

○教育長 ただいまから町田市教育委員会第4回定例会を開会いたします。

本日の署名委員は井上委員です。

それでは、日程第1、月間活動報告に入ります。

前回の教育委員会定例会以降の活動につきまして、まず教育長の私からご報告をさせていただきます。

お手元の「主な活動状況」をご覧くださいと思います。

私からは1点、6月24日に教育センターで学びの多様化学校分教室「ゆめのき」を視察するとともに、この日行われた石阪市長による「ゆめのき」の生徒たちへの特別授業を参観してきました。市長の授業は、この日と27日、7月4日の合計3時間、内容は野鳥に関する授業を行っていただきました。ふだん見て知っているようで、実はその模様であったり、生態であったり、空を飛べる仕組みなど、よくわかっていないことについての授業内容でした。

市長も、木材から切り出して鳥の骨の骨格模型を作成し、それに基づいて説明をしたり、実験に必要な鳥が飛ぶためのさまざまな仕組みを説明する教材を自作して授業を行っていました。綿密な教材研究と、よくつくり込まれた教具は、生徒の興味・関心を喚起させるのだということを改めて強く感じた授業でした。生徒たちにもよい経験になったことだと思います。

私からの報告は以上でございます。

次に、委員の皆様からのご報告をお願いいたします。

○井上委員 私からは、6月25日に行われた鶴川中央小学校の「校章をつくる会」につ

いてお話しいたします。

参加メンバーは、鶴川第三小学校と鶴川第四小学校の児童や、各校の卒業生である鶴川第二中学校と真光寺中学校の生徒が集まりました。5～6人のグループに分かれて、前回のアンケート結果で上位だった「鶴」「桜」「虹」「富士山」「川」「カワセミ」などをモチーフに、校章を書いてみるのところからスタートしました。

制作者であるデザイナーの方に、デザインをするときに大事なものは、シンボル、文字、形、色であることや、見ただけで鶴川中央小学校だとわかってもらうこと、シンプルで覚えやすく、遠くから見てもわかるデザインにすることがポイントであると教えていただきました。デザイナーさんとお仕事をするということは、きっと子どもたちの人生の中でも極めて貴重な経験となることでしょう。

シンボルや文字の入れ方のヒントを参考に、黙々と真剣に描く様子を拝見していたら、1つ書いた後に手がとまっている児童がいたので、「すてきなのが書けたね。少し疲れちゃったかな」と声をかけると、「いえ、次のアイデアを考えているところです」とやる気満々の様子。私のほうがお邪魔してしまいました。

短い時間にもかかわらず、子どもたちは2つ、3つと頭に思い浮かんだアイデアを次々に形にしていってとても驚きました。中には「鶴」や「カワセミ」をクロムブックで調べながら特徴を描写している子もいました。中学生はレタリングのような凝ったデザインを考えている子もいました。2回目の交流だったからか、指示されずとも、自然とグループの中で、「どう思う？」「こうしてみたら？」と意見を出し合いながら進めていく姿がすてきだなと感じました。

最後は、シンボル、文字、形、色について班ごとに話し合ったものを紙に書いて、ほかの班の意見も見て回りました。同じ部分があったり、違うものがあったり、組み合わせ次第でいろんな選択肢があるということを体感した様子で、「集中して頭を使ったから疲れたけど楽しかった」と、みんな、にこやかに帰っていきました。

「子どもたちのアイデアにハッとさせられ、すごくいい着眼点やいい発想がたくさんありました」とデザイナーの方も驚いていらっしやいました。

子どもたちや地域の皆様とともに、鶴川中央小学校らしさの詰まったデザインを模索していただけたらいいなと思いました。

私からは以上です。

○関根委員 私からは1点ご報告させていただきます。

6月26日に町田市立金井中学校へ市教委訪問させていただきました。金井の丘の上の閑静な住宅地にあるこの学校は、昨年度、創立40周年を迎え、地域とともに支え合いながら続いてきた学校です。

今は3年後の統廃合に向けての準備をされているとのこと。

金井中学校のABCとして、Aは、怒りのコントロールをして、健全な人間関係の構築を目指すアンガーマネジメント、Bは、中学2年生の移動教室にて、福島県の施設に出向き、国際感覚豊かな生徒の育成を目指す国内英語留学「ブリティッシュヒルズ」、Cは、職業人の話を聞く会、マナー講座、浴衣の着付教室、まちかど子どもギャラリーなど、地域の方を初めとした外部人材の招聘を積極的に行い、社会へ出ていくためにさまざまな体験活動を実施するキャリア教育と、冒頭に学校から、金井中学校の特色ある活動についてのご説明がありました。

今年度、13人もの教職員の異動があったと聞いておりましたが、学校は全体的にとっても落ちついており、教える側と学ぶ側との関係がしっかり成立した上での授業展開がなされていました。

特にこの学校では、英語が得意な生徒が多いので、主に英語の授業を拝見しましたが、ベテランはベテランらしく、さすがの授業進行で、生徒を学びの中へ巻き込むような雰囲気づくりがすばらしく、気がついたら英語がしっかり学んでいるというような授業でした。一方、新任の英語教員は、なかなかのネイティブな英語発音で、生徒たちが憧れを持ちながらも、「大きな声で」を積極的にリピートしていました。先生は生徒一人ひとりをよく見ており、その子に合った声かけをしている様子を見て、この先生のこれからが楽しみになりました。

全体を見て感じたことは、先生の気持ちや構えがしっかりと生徒に向いている授業は、生徒の反応もよく、発言も多く、授業全体の流れができることで、学びの姿勢が整い、さらによりよい学びにつながっているのではないかと思います。

私からは以上です。

○教育長 ほかにございますでしょうか。――よろしいでしょうか。

私並びに委員の皆様の報告につきまして、何かご質問などありましたらお願いいたします。

そのほかに事務局も含めて報告などございますでしょうか。――よろしいでしょうか。

それでは、以上で月間活動報告を終了いたします。

次に、日程第2、報告事項に入ります。

本日の報告事項は7件ございます。

まず、報告事項（1）について担当者から報告をさせていただきます。

○学務課長 私からは、報告事項（1）「東京都公立中学校、義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程における35人学級の実施について」、報告いたします。

東京都教育委員会から令和7年6月12日付で通知がございましたので、ご説明いたします。内容といたしましては、中学校におきまして、令和8年度、来年度から中学1年、令和9年度は2年生、令和10年度は3年生と、段階的に35人学級を実施するものです。これに向け、東京都教育委員会は、今年度、令和7年度末に学級編制基準を改正する予定としております。

町田市教育委員会は、引き続き東京都の学級編制基準に準じて、適切に学級編制を行ってまいります。

次のページに東京都からの通知の写しを添付しておりますので、後ほどご確認ください。

報告は以上です。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かご質問などございましたらお願いいたします。——よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（2）について担当者からご報告いたします。

○保健給食課長 「中学校給食センター整備事業について」、ご報告いたします。

町田市では、成長期の中学生全員に、できる限り早期に温かい給食を提供するため、給食センター方式による全員給食実施に向けた取り組みを進めております。

堺エリアでは、ゆくのき学園の給食室から配送する形で、2024年9月から全員給食を開始し、鶴川エリアでは、2025年1月から全員給食を開始いたしました。また、町田忠生小山エリアにおいて、2025年4月、今年度から給食の提供を開始いたしました。

給食提供を開始しました町田忠生小山エリアの様子及び建設中の南エリアの工事状況などについてご報告いたします。

（1）「町田忠生小山エリア」でございます。

2025年4月3日に開所式を行いました。式典後は試食会を行い、季節を感じられる献立で、実際に生徒にも提供される給食を提供いたしました。

2025年4月から順次、町田忠生小山エリア8校へ給食の提供を開始しております。地

場産野菜を使い、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく届けております。

町田忠生小山エリアでは、市民交流エリアの名称を「loop Nanakuniyama」と名づけ、カフェ、プレイルーム、子ども広場、多目的室などを併設しております。また、消防団詰所も併設しており、地域と連携しながら災害にも備えてまいります。カフェでは、毎日30食の給食ランチを提供しておりまして、完売する日もあるなど、ご好評をいただいております。

また、農業振興課とともに日曜朝市を開催するなど、地域の方が食に興味を持ったり集ったりする場になれるようイベントも開催しております。

5月12日からは、多目的室A及び多目的室Bについて、「まちだ施設案内予約システム」を用いた施設予約を開始しております。こちらにつきましてはまだ満員というわけではございませんが、地域の方の活用が始まっております。

ページをおめくりください。

続いて、南エリアでございます。東光寺公園及び調整池にて工事を進めております。現在、調理機器や換気扇用の配管など、1階及び2階の内装工事を行っております。工期の変更により、2025年9月から予定していた給食提供開始が2025年10月からになる予定でございます。

次のページをおめくりください。

工事自体は夏休みが終わる8月末に完了して、そこから開業準備を1カ月程度行い、10月からの開業に備えてまいります。

報告は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かご質問などございましたらお願いいたします。——よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（3）について担当者から報告させていただきます。

○指導室長（兼）指導課長 私からは、『ペーパーティーチャー研修』の開催について、ご報告をさせていただきます。

町田市教育委員会では、昨年度、一昨年度に引き続き、独立行政法人教職員支援機構玉川大学センターと共催で「ペーパーティーチャー研修」を開催いたします。

この研修は、現場から遠ざかっている方や、教員経験のない方を対象に開催するもので、2023年度から開始して以来、53名の方にご参加をいただいている研修になります。

今年度の開催日時ですが、7月5日（土）、11月29日（土）の2回開催する予定でございます。

主な研修内容といたしましては、最近の教育事情や町田市の教育の特徴について玉川大学の教授から、また、臨時的任用教員としての採用までの流れについて、学校教育部指導課職員より説明をしております。

今年度より新たに取り組むものとして、本研修に参加された方で、希望者がいる場合は、市内の小・中学校で行われる公開授業に参加をしたり、また、町田市教育委員会が実施している初任者研修の見学をすることを通し、より身近に感じていただけたらというふうに考えております。

以上です。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かご質問などございましたらお願いいたします。——よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（4）について担当者からご報告いたします。

○生涯学習総務課長 報告事項（4）「学校施設の地域活用を推進するための取組について」、ご報告いたします。

町田市教育委員会では、地域の方々に、より便利に学校をご利用いただくことを目指し、現在の学校開放事業の見直しに取り組んでおります。このたび、利用する方の利便性の向上、施設のセキュリティの向上、教員の負担軽減のための取り組みを試行することとしたので、ご報告いたします。

今回の取り組みは、昨年度、2024年度市民参加型事業評価でのさまざまなご意見を踏まえて定めた改善プログラムに基づき、実施いたします。また、地域の方々のご意見を伺いながら進めてまいります。

1 「試行実施施設」です。今回は忠生第三小学校及び図師小学校の校庭と体育館で行います。

2 「試行内容」としては、3つの取り組みになります。

1つ目は、「予約システムの導入」です。市民センターなどで導入している「まちだ施設案内予約システム」ではなく、今回の試行では、LINE アプリを利用した予約システムを学校単位で導入いたします。これにより利用状況の把握や利用報告が可能になります。

2つ目は、「スマートロックの導入」です。セキュリティ向上のため、予約システムと

連動したスマートロック、いわゆる電子錠を導入いたします。2 ページ目の図にありますように、利用予約を行った団体は、LINE アプリを通じて通知される暗証番号を使用いたしまして、キーボックスをあけます。キーボックスの中に入っている鍵を使って、施設をあけることができるという仕組みでございます。

3 つ目は、「学校施設を活用したイベントの実施」です。これからの学校は、地域活用型学校として、地域コミュニティの核とすることを目指しております。この取り組みの1 つとしまして、学校教育以外の時間帯に、子どもも大人も参加できるイベント等を実施いたします。イベントの詳細は、地域の皆さんとともに検討し、実施してまいります。

3 「スケジュール」です。これまで2 校の利用団体の皆様には、試行内容についてご説明をしてきたところでございますが、今後、実際のシステムの使い方などの説明をしてまいります。その上で、8 月からシステムによる予約の開始、9 月からシステム及びスマートロックによる施設利用を開始いたします。10 月以降は学校を活用したイベントを今年度は3 回実施する予定でございます。

2026 年度は、地域の皆様や利用者、学校関係者の皆様からご意見を伺いながら検証を行い、2027 年度にはほかの学校へも順次導入していきたいと考えております。

報告は以上です。

○**教育長** ただいまの報告につきまして何かご質問などございましたらお願いいたします。

○**後藤委員** これはお願いなのですが、地域活用型学校というのは、これまでもやっていた学校開放事業との違いというか、さらにそれにプラスしていくことだと私は認識をしているのです。東京都他の区市町村とかで先進的にやっている例では、もう20 年、30 年前からやっている。私の経験では、区の教員をやっていたときは、既にそういうものをしていました。そういう例も含めて、私ども教育委員にも情報を提供していただいて、いろいろな可能性として、地域活用型学校をどういうふうによりバージョンアップをしていくかということを考えるきっかけが欲しいなと思っていますので、ぜひよろしくお願いします。

○**教育長** では、また情報収集等もしていただいて、お願いいたします。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（5）について担当者から報告させていただきます。

○**生涯学習センター長** 報告事項（5）『平和祈念事業』の開催について、ご説明いたします。

生涯学習センターでは、毎年8月上旬に、戦争の悲惨さや、平和のとうとさについて考え、次世代に語り継ぐ機会とするため、「夏の平和イベント」として、平和祈念事業を実施しております。今年度は広島・長崎の原爆被爆体験談のほかに、戦後80年という時間の経過の中、改めて戦争に関する歴史や実態を振り返るための原爆の図パネル展や、桜美林大学浜田弘明教授をお招きして講演を行います。

本事業は8月6日から11日まで、町田市立国際版画美術館を会場に実施いたします。内容は、戦時資料展や市民公募でいただいたハガキ展、市内小学生が作成した平和絵手紙作品展等を実施いたします。あわせて、広島・長崎の原爆被爆体験談や朗読劇、親子で平和を考える平和絵手紙をつくるワークや講演会等も行います。

おめくりいただき、3枚目をご覧ください。本事業のチラシになります。夏休み期間中のため、夏休みの宿題や自由研究のヒントとなるよう、子どもの参加を意識したチラシとしております。公共施設や小・中学校など周知・案内をまいります。

説明は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かご質問などございましたらお願いいたします。——よろしいでしょうか。

○教育長 以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項(6)について担当者から報告させていただきます。

○市民文学館担当課長(町田市民文学館長) 報告事項(6)「『ことばのカタチ展』の実施報告について」、ご説明申し上げます。

資料をご覧ください。

文学館では4月19日から6月22日まで、日ごろ何げなく使っている「ことば」を改めて見つめ直し、「ことば」への思いを共有できる機会として本展を開催いたしました。期間中の総観覧者数は6,232人で、会期55日間の1日平均は113人となりました。

本展では、特に若い世代に関心を持っていただくため、展覧会メインビジュアルを、Xで人気のデザイナー、みっけ氏に依頼をしました。展示内容も本や漫画、図鑑など、視覚的な資料を取り上げる一方で、詩をグラフィカルに展示したり、若い世代に人気のあるラップから「ことば」のリズムを感じられるようにしたり、観覧者が互いの思いを共有できるコーナーを設けるなど、さまざまな視点から「ことば」に迫りました。

5の(1)に「関連事業」を資料の裏面にかけて列記いたしておりますけれども、講演会やワークショップに計273人が参加されたほか、短歌アプリ「57577」とのコラボによ

る短歌募集では、合計 2,476 首が集まるなど、期待以上の反響をいただきました。

(4) のアンケートによる来館者の傾向ですが、年代は 20 代と 50 代が最も高く、ターゲット層とした 20 代から 40 代が約半数を占めました。居住地では町田市が 34.4%と最も高く、近隣の市と合わせて 3 分の 2 以上となりました。

また、来館回数は 4 回以上のリピーターが 35.5%と高い状況でした。広報媒体ではポスター・チラシが 40%で、みっけ氏のデザインにより展覧会への関心を喚起できたものと考えております。

3 ページに感想の一部を記載いたしました。言葉という身近な存在を、ご来場いただいた一人ひとりが改めて考えたり感じたりしていただける機会になったのではないかと考えております。

4 ページ目には展示会場の写真を掲載してございます。

ご報告は以上です。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かご質問などございましたらお願いいたします。——よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項(7)について担当者から報告させていただきます。

○市民文学館担当課長(町田市民文学館長) 続いて、報告事項(7)「『絵本の森でフルーツ狩り展』の開催について」、ご説明申し上げます。

資料をご覧ください。

文学館では、毎年夏に小さなお子さんや保護者の方が一緒に楽しむことができる絵本原画展を開催しております。今年の夏は「くだもの」をテーマに取り上げます。本展は、食べることに興味・関心を持ち始める小さなお子さんをウキウキさせる「くだもの」の魅力を、絵本を通じてご紹介します。

会期は、来る 7 月 19 日から 9 月 21 日までで、観覧料は無料です。

関連事業を資料の裏面にかけて列記いたしましたが、添付しましたチラシの裏面でも詳しくご紹介しております。ワークショップや講演会、担当学芸員による展示解説のほか、都市農業として果樹や野菜が生産される町田市ならではの企画も行うこととしております。

町田総合高校の生徒が授業の一環で提案したイベントの中から、実現に向けて、市役所の農業振興課や J A 町田市を通じて農家さんの協力をいただくなどし、文学館を会場とするマルシェの開催や、喫茶けやきとのコラボメニューの提供などを行います。なお、生徒

もマルシェの運営やコラボメニューのPOPの制作などに参画をいただきます。

ご説明は以上です。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かございますでしょうか。

○井上委員 毎年夏のイベントは、未就学児や小学生ぐらいまでのお子さんを対象とした企画で、楽しみにしている方がとても多いと思います。今年はことばらんどを飛び出した新たな催しもあるようですし、趣向を凝らしたおもしろい展示が見られることを期待しています。ぜひ広く周知していただきたいと思います。

○教育長 ほかにございますでしょうか。——よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

予定された本日の議題は以上でございますが、そのほかに委員の皆様あるいは事務局から何かございましたらお願いいたします。——特によろしいでしょうか。

以上で町田市教育委員会第4回定例会を閉会いたします。

午前10時25分閉会